



第59号

発行日
平成31年3月6日発行
栃農高同窓会事務局栃木県立栃木農業高等学校
同 窓 会

ご挨拶



同窓会会長

横尾 武男

同窓会機関誌「土」の発刊にあたり、ご挨拶申し上げます。

今年度は本校同窓会においても、大変動きのあった一年となりました。鈴木林弥前同窓会長が二月にご逝去され、四月には石渡丈夫元同総会長、五月には岸慶蔵元同窓会長が相次いでご逝去されました。この場をお借りしましてご冥福をお祈り申し上げます。

本同窓会にとっても功績の大きな先輩方を失ったことは、とても辛く厳しい状況になっていました。そんな中でたくさんの方々の協力や支援をいただき、今年度の総会において、新体制を整えることになりました。たくさんの方々の先輩方が居る中、私のような若輩が会長の職に就くことは恐れ多いことでしたが、同窓会関係者各位の皆様方からの激励をいただき、会長の職に就かせていただきました。

た。新体制となった同窓会を、ぜひ皆様の力をお借りして盛り上げていきたいと願っておりますので同窓会の皆様のご支援を願えば幸いです。

さて、今年度は節目の年となりました。これまでは「農業科」「生物工学科」「農業土木科」「食品化学科」「生活科学科」の慣れ親しんだ五学科でしたが、平成三十一年度より「植物科学科」「動物科学科」「食品科学科」「環境デザイン科」の四学科となります。新たな学校として生まれ変わります。特に動物科学科は県内で他に例がなく、入試倍率でもわかる程に注目されております。

今年の栃農の活躍を振り返ってみますと、新聞やテレビと言ったマスメディアでも母校栃農の活躍を目にする機会がたくさんありました。皆さんも記憶に新しい栃木市役所の庭園整備は、農業土木科の生徒達が制作したことは、ニュースでも取り上げられました。その後も継続的に手入れを行い、市役所の顔になり続けております。また、栃木市の伝統野菜である「宮ねぎ」についての研究にも長く取り組まれており、その地域貢献活動が全国ネットのテレビ番組において取り上げられました。他にも全国そば打ち選手権で敢闘賞、全国高校生環境論文カップで最高賞、廃棄物資源循環学会で優秀賞など同窓生として誇りに思います。

すが、本校が県内唯一の単独農業高校として、農業後継者の育成、農業関連産業の担い手づくりに貢献していることは周知の事実ですが、学校が新しくなると言えども、栃木農業高校の名前はそのまま残り続けます。これまでの農業高校としての役割や教育を踏襲しつつ、未来に向けて求められる「農業のかたち」を敏感にとらえ、発展することを願っています。

「栃農ルネサンス」を鈴木真之校長が掲げてから三年が経ち、確実に成果がスタートしています。これまでの輝かしい歴史と伝統を継承しつつ、更なる発展と時代のニーズに応えることができる専門高校を目指すことができれば、より地域社会と密接に関わり合える学校として活躍できると信じています。

本校は今年度の卒業生を加えると同窓生も約一万六千人を数えます。これからの栃農を支えていくのは学生達だけではなく、それを見守り支えていく私たちの仕事でもあります。繰り返しになってしましますが、何卒ご助力、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

終わりに、母校の益々の発展と会員の皆様のご健勝・ご多幸をご祈念申し上げます。ご挨拶といたします。



ご挨拶

校長
鈴木 真之

同窓会員の皆様におかれましては、益々御清栄のこととお慶び申し上げます。日頃より本校教育の充実・発展のために御協力・御支援を賜り厚く御礼申し上げます。また、地域の農業や産業の振興・発展に御尽力されている皆様に敬意を表しますとともに、叙勲、表彰の栄に浴された皆様、要職に御就任された皆様に心から御祝い申し上げます。

本年度は、本校同窓会にとって大きな節目の年でもありました。平成二十六年度から同窓会長として、同窓会並びに母校の充実・発展のために多大な御尽力を賜りました鈴木林弥同窓会長が二月に御逝去なされ、四月には石渡丈夫元同窓会長、五月には岸慶蔵元同窓会長が相次いで御逝去されました。ここに改めて御冥福をお祈り申し上げますとともに、衷心より哀悼の意を表させていただきますと存じます。このような中、本校同窓会にとつて大きな柱を失い、失意の中、今後の同窓会の運営を考えると戸惑うばかりでございます。しかし、多くの同窓生の皆様の御協力・御支援を賜りながら、七月には、第二十二回卒の横尾武男新会長の下、新体制が整い、新たなスタートを切る運びとなりました。改めまして、新体制整備のために御尽力を賜りました同窓会関係各位の皆様には御礼申し上げます次第でございます。

さて、本校は今年創立百十二年目を迎えますが、一昨年の百十周年の節目に掲げました「**栃農ルネサンス**」歴史と伝統から新たなステージへ」というスローガンの下、教職員・生徒が一丸となって学校改革に努めて参りま

した。その結果、生徒達も落ち着いた雰囲気の中で勉学や部活動に励み、研究活動や地域連携・貢献活動等様々な分野において多くの成果をあげてきています。まず、農業クラブ活動では、意見発表分野「類において、県大会で最優秀賞となり関東大会に出場いたしました。関東大会でも健闘いたしました。全国大会への出場は叶いませんでした。しかし、今後に繋がる多くの成果を得ることができたと思います。また、本校教育の特色であります地域連携活動においても幾つかの成果をあげてきています。一つ目は、農業科の生徒達が取り組んでいる「宮ねぎ」のプロジェクト活動です。

このプロジェクトは平成二十四年から始まったプロジェクトで、「宮ねぎ」の優良系統の増殖・栽培普及・販売促進などに継続的に取り組んできました。特に今年度は、栽培普及活動等に積極的に取り組む、地元小学校との交流学习を通して栽培した「宮ねぎ」を小学生と一緒に調理をするなど、積極的な活動を行いました。これらの取り組みが新聞等に取りあげられたり、テレビで「宮ねぎ」のことが放映されるなど、地域にとつても本校にとつても一定の成果をあげることができました。二つ目は、農業土木科の生徒が、第四回ユース環境活動発表大会関東地方大会において、「協賛企業特別賞」を見事受賞したことです。本校はこれまで取り組んできた土囊の活用について、地域と連携した活動内容を発表しました。これらは、生徒諸君が意欲的に研究活動や地域連携活動に取り組んだ結果、得られた素晴らしい成果です。今後とも地域と連携した活動等に多くの生徒が積極的に取り組んでいって欲しいと思います。

会での野菜や草花の販売など、例年実施されているイベントにおいても生徒の学習活動の成果をPRすることができました。また、中学校へ出向いての「出前授業」や高齢者・障害者支援施設等でのボランティア活動、東北自動車道佐野パーキングエリア内花壇の植栽活動など、地域に密着した様々な活動を本年度も実施いたしました。恒例の「**栃農祭**」は十一月十七日(土)に開催しました。学習内容の展示、実習で栽培した野菜や名物となっている「大福」の販売、模擬店、PTAバザーなどが催され、多数の同窓生や地域の皆様方にご来校いただきました。今後とも、農業高校の特色を生かした地域連携や地域貢献活動を積極的に推進し、地域に根ざした学校づくりを進めてまいりたいと存じます。

平成三十一年度からは、本校の全ての学科がリニューアルされ、新栃農高としてスタートを切ることとなっております。新学科として「植物科学科」・「動物科学科」・「食品科学科」・「環境デザイン科」の四つの学科が設置され、これからの時代の要請に応えるべく、新たな農業教育を展開していくこととなっております。二月に行われた特色選抜においては、動物科学科の倍率が四倍で県内最高倍率となりました。また、一般選抜においても全学科の平均倍率が二倍を超える状況です。今後とも、先輩方が築いてこられた歴史と伝統を継承しつつ、地域に愛され、信頼される栃農高となるよう努力してまいります。

結びに、同窓会員の皆様の益々の御健勝と御活躍、本校同窓会の一層の発展を御祈念申し上げますとともに、本校教育の充実・発展のために、今後とも御協力・御支援を賜りますようお願い申し上げます。御挨拶とさせていただきます。

～会次第～

- 1 開会のことば
- 2 同窓会長代行あいさつ
- 3 校長あいさつ
- 4 顧問あいさつ
- 5 議題
 - (1)平成29年度会務並びに事業報告
 - (2)平成29年度会計決算報告監査報告
 - (3)会則の改定について
 - (4)次期役員の出選について
 - (5)平成30年度会務並びに事業計画案
 - (6)平成30年度予算案
 - (7)視察・祝賀会について
- 6 閉会のことば

栃農高同窓会総会報告

平成三十年度栃農高同窓会総会が七月二十九日(日)JAしもつけニューアプロ二一において行われました。今年の総会では、平成二十九年度の会務事業報告・決算報告・監査報告、平成三十年度の会務事業計画、予算案について審議していただいた他に、役員の変更についての議題もあがり、新役員が承認されました。

(後に掲載)
新会長になられた横尾武男会長(昭四十五農卒)からは「来年から栃木農業高校が新しくスタートする。」



(中)新会長になられた横尾武男様
(左)新副会長になられた松本益一様

新役員の皆様

我々同窓会も一丸となって学校を支えていく必要がある。「と心強いお言葉をいただくことができ、新体制で同窓会が動いていくこととなりました。」

- 会 長(一名) 横尾 武男(昭四十五農卒)
- 副会長(二名) 松本 益一(昭三十七農卒)
和賀井政雄(昭三十八農卒)
- 監 事(三名) 日向野哲夫(昭四十五農卒)
田中 正造(昭四十五農卒)
小林真理子(昭五十二生卒)
- 清水 武治(昭四十五食卒)

視察祝賀会研修会

今年の視察祝賀会研修会は、台風二十四号が近づく悪天候の中多くの方にご参加していただき開催することができました。

今年(平成三十)は十四名の方が受賞等を受け、お祝いすることができ、同窓会としても嬉しいことです。今年(平成三十)は栃木県内で視察研修会を計画、栗田美術館・足利学校・ココファームワイナリー・第一酒造(開華)を見学しました。栗田美術館伊万里・鍋島を館蔵する世界最大級の陶磁美術館で、身の丈はあろうかという陶磁器を見てきました。ココファームワイナリーは二〇〇〇年九州沖縄サミット、二〇〇八年北海道洞爺湖サミットでもワインを提供した注目されるワイナリーです。急斜面に植えられた一面のブドウ畑に、参加された方々はその管理の大変さについて話されていました。

祝賀会は相田みつを氏にゆかりのある「めん割烹なか川」で行わせていただきました。おいしい料理をいただきつつ、楽しいひとときを過ごさせていただきました。



栄光の先輩方

- 椎名 英雄(昭三十三農卒) 旭日双光章(土地改良事業功勞)受賞
- 関口 尚(昭三十四農卒) 瑞宝双光章(更生保護功勞)受賞
- 齊藤 守(昭三十九農卒) 瑞宝单光章(消防功勞)受賞
- 小林 長(昭四十一園卒) 旭日双光章(地方自治功勞)受賞
- 日向 野猛(昭四十五農卒) 瑞宝双光章(消防功勞)受賞
- 羽角 安夫(昭四十九食卒) 瑞宝双光章(保健衛生功勞)受賞
- 大塚 幸八(昭四十九農業卒) 栃木県農業士会 会長就任
- 神永 信夫(昭四十一園卒) JAしもつけ代表理事組合長就任
- 荒川 清(昭四十二農業卒) JAしもつけ代表理事専務就任
- 福田浩一郎(昭四十六農業卒) JAおやま代表理事組合長就任
- 針谷 育造(昭三十九農卒) 栃木市議就任
- 永田 武志(昭四十二園卒) 栃木市議就任
- 茂呂 健市(昭四十三農卒) 栃木市議就任
- 関口孫一郎(昭四十七農卒) 栃木市議就任

同窓会を名乗った不振電話に注意!!

平成三十年七月下旬頃より、本校同窓会を名乗り「同窓会名簿を送付したい」「現在の職場」や「連絡先」などを聞いてくる不振電話があるという問い合わせが増えております。

同窓会事務局としては、**会員の方に直接お電話しなければいけない事案はありません。**もし、栃農同窓会を名乗った不審な電話があった場合には、不用意に個人情報をお話すことがないようご注意ください。特に、ご家族の方がその不振電話を受け、ご家族の連絡先を伝えてしまっていることが多いようです。こちらをご覧になった方は他の同窓生への注意喚起も併せてご協力ください。

栃農高同窓会係より

編集後記

会員各位におかれましては、日頃より本校同窓会の諸事業に關しまして、多大なご支援とご協力をいただき深く感謝申し上げます。会長と校長の「ご挨拶」にありますとおり、今年度は同窓会において変化の年となりました。二月、会長の鈴木林弥様のご逝去され、四月には元会長の石渡丈夫様、五月には元会長の岸慶蔵様のご逝去されました。この場をお借りしましてご逝去された方々のご冥福をお祈り申し上げます。

今年度の総会において、この機関誌「土」の発行方法についても変化がございます。これまでは、印刷したものを支部長等から各会員へ配布する形式をとっておりましたが、支部長様の負担や全会員様への配布が困難なことから「栃農高ホームページ」での掲載という方法に変更させていただきます。これにより、情報機器をお持ちの全会員さんがみることができるようになります。ぜひ懐かしき本校の活動と併せ、機関誌「土」をご覧いただければ幸いです。結びに会員皆様のご健勝とご活躍を期待して後記といたします。